



学生がデザインするまちづくり講座

琉球大学と宜野湾市の包括連携協定事業



琉球大学
地域連携推進機構



宜野湾市
市民協働推進課



1月25日、「学生がデザインするまちづくり」の最終発表会が、オンラインで行われました。最終発表会には受講生に加えて、宜野湾市役所職員など合わせて39名が参加しました。

この講座は、本市と琉球大学が連携して実施するまちづくり講座です。自治体職員や地域で活動する方の講話、宜野湾市のまち歩き(フィールドワーク)などを通して、高校生、大学生、社会人が宜野湾市の地域課題や資源を発見し、解決策や地域活性化策を考える講座です。本講座には、高大連携の取り組みとして宜野湾高校の生徒も参加しました。



【各チームの発表内容】

- 大山ターナムを次世代へつなぐ
- ぎのわんスイーツコンベンション
- 人材から広がる活気のある宜野湾市のまちづくり

詳細はコチラ▶



【受講生からのコメント】

- 宜野湾市の資源について深く知ることができました。
- 宜野湾市にはハードソフト両方の資源が数多くあり、ポテンシャルが高いと感じました。
- 自分の住む町もより良いものとなるよう、今回学んだことを活かしていきたいです。

【担当教員からのコメント】



畑中 寛氏(琉球大学地域連携推進機構)
公共政策学
宜野湾市の地域課題の深掘りと地域資源(地域の学生等)の活用に加え、今回は事業関係者(ステークホルダー)の洗い出しに力点を置き指導しました。琉大生と宜野湾高校生及び社会人の協働による3提案が課題解決のスタートアップとなれば嬉しく思います。

問合せ:宜野湾市企画部市民協働推進課 893-4411(内線2222)

【次年度の案内】

琉球大学と本市が連携して実施する「学生がデザインするまちづくり」をテーマにした科目が令和4年度前学期に開講されます。市民の皆様も社会人受講生(公開授業)として受講ができます。なお、同科目は「初級地域公共政策士」の資格対象科目になっています。ホームページよりお申し込みください



シビックテックによる市民協働まちづくり講座

ICTで地域課題を解決する新しい市民活動



2月5日、シビックテックによる市民協働まちづくり講座最終発表会を行いました。この講座は、市民自らが、宜野湾市の地域課題を考え、ICTを活用した地域課題解決を学ぶ、全8回の講座です。講座は10月~2月にかけて行い、35名の受講生が参加しました。最終発表会では、8チームが地域課題の解決策を発表しました。最終発表会の動画は下記のQRコードからご覧いただけます。

【受講生のコメント】

- シビックテックの可能性と人のつながりの重要性を学びました。
- 情報収集の方法、アイデアの出し方、企画の作り方を学ぶことができました。
- たくさんの方のアイデアに触られました。沖縄を元気にしたい人がこんなにいることに勇気づけられました。

【講師からのコメント】



福島 健一郎氏(アイパブリッシング株式会社 代表取締役)
(一社)コード・フォー・カナザワ 代表理事、内閣官房オープンデータ伝道師
受講生たちは、まさに地域を良くしたいと考える方ばかりでした。シビックテックでは使えるリソースは限られていますが、沢山の人の関わってもらうことで一人ひとりへの負担は少なくなります。「自分たちの地域を良くしていきたい」という思いを共有できる仲間を増やしていくことが大切です。テクノロジーをどんどん活用していきましょう!



講座の詳細はこちら



最終発表会の動画(Youtube)



【シビックテックとは…】

Civic(市民)とTech(テクノロジー)を掛け合わせた造語です。市民自身が、テクノロジーを活用して、行政サービスの問題や社会課題を解決する取り組み・考え方を指します。

問合せ:宜野湾市企画部市民協働推進課 893-4411(内線2222)